

Abstract

日本の核軍縮分野における取組と国連

荊尾 遥(広島県平和推進プロジェクト・チーム 平和推進アドバイザー)

本稿は、国連総会第一委員会で扱う核軍縮分野で、日本の国連における外交政策が、今日の核軍縮状況に及ぼしうる影響について検討する。また、日本が意図してきた外交政策が冷戦期及び冷戦後に国際政治の場で実際にどのように展開してきたかを探るとともに、国連側から見える日本のプレゼンスを検証する。そして、核軍縮分野をめぐる日本外交と国連という観点から、国際的な動向と日本の取組との接点を探り、その成果、課題、展望について論考する。

『国際安全保障』第43巻第4号(2016年3月)2-15ページ。